



ふれあい

第33号・令和6年5月・更生保護女性会

春夏秋冬

二ツ井地区更生保護女性会

会長 照井 賀津子

あつという間の一年間でした。また、新しい春の到来を迎える新年度のスタートですね。

「春」と秋の子ども園の除草ボランティア。

春は猛暑の中での作業であり、難儀をおかけしました。そして、秋は熊騒動の為、子ども園と連絡を取り合った結果、安全面を考慮し中止となりました。役員・連絡員の方々には二転三転の電話連絡、有難うございました。

「夏」のポスター製作。

完成した作品を、玄関入り口に堂々と二枚貼った会員宅、“更女会員”をアピールしているようで嬉しくなります。また、町で信号待ちの時、何気なく左側を見ると、二枚のポスターが貼られてありました。色褪せてはいるが大切に使つて頂いていたことに感謝です。この町の子どもたちを遠くから見守っている証に感

じられました。引き続き頑張りましょう。

「秋」見学研修

地元の良さに触れ、気づき、共有したい思いで企画した今回の研修、多数の参加に驚きと喜びでした。意外と地元の良さはいっぱいあるのに、わからないままの自分に気付いた次第でしたが、皆さん是如何だったでしょうか。風車と共に能代市の経済も回っていることをしみじみと実感しました。また、中国木材は、本稼働した時にはいつか見学に行きたいものですね。

「冬」ポケットティッシュケースの製作。

手作りの温かさが籠もつたティッシュケース、その中に入った応援メッセージ。頂いた園児や生徒たちは、どんな気持ちで受け取つて、何を感じてくれたんだろうといつも思います。応援メッセージが気に入つて、いつも持ち歩いている人がいたことに感動でした。

一年間ご協力有難うございました。今年もまたよろしくお願ひ致します。

秋田県更生保護女性連盟総会に参加して

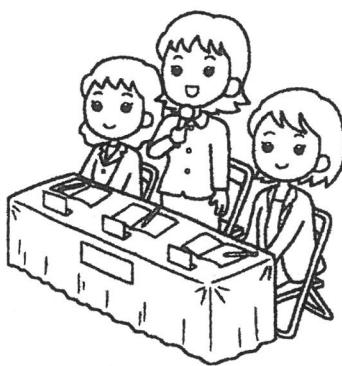
藤田 礼子

二ツ井子ども園草取りに参加して

池端 美喜子

総会は令和五年五月二十二日、秋田市で開催されました。始まる前に資料に目を通していたら、二ツ井地区の会員数が他の地区に比べてとても多い事に驚きました。それと、私と同姓同名の会員さんの名前を発見し、親しみを感じ、嬉しい気分に…。

私は初めての参加で、一般的な総会を想像していましたのですが、意外なことがありました。議事は淡々と進められ終了。最後の情報交換での出来事、鹿角の会員さんの語りべ「へたれ嫁こ」はとても上手で皆さん大盛り上がりでした。歌を歌う会員さんなど、皆さんイキイキとしていました。総会が開催された五月には、コロナが五類に移行、マスク着用での総会ではありましたが、会員の皆さん揃つての昼食となりました。和やかな雰囲気の良い総会だったなど感じた一日でした。



前回の草取りの時は何も分からず大変だった記憶があつたので、今回は楽に作業できるようにと準備して行きましたが、なんと言つても前日に雨が降つたお陰で土も柔らかく、ひつかくとすぐに草が取れたので楽に作業することができました。立つて周りを見廻すと少しは残つてしましましたが、綺麗になつたなあと嬉しく思いました。作業中に男の子が私の所に「先生～。」と言つて走つてきました、「なあに。」と顔をあげたら「あ～。おばあちゃん。」と言い直して走つて逃げて行きました。子どもって正直だなあと笑つてしましました。前回の時も私の持つて行ったピンクの小さいバケツを見て「これ、誰の～。」と言つてきたので、「どうしたの。欲しい？」と聞いたら「ウン。」と言つたので、「じゃ、草取つたらこれに入れてね。」と言うと喜んで持つて行つたなあ、今回も間違つても声かけられたし、可愛い子どもたちに疲れを忘れさせられた一日でした。

ポスター作りに参加して

雄鹿 成子

六月二十九日（木）、非行防止・健全育成の願いを込めた啓発ポスターをみんなで製作しました。今年度は、二ツ井地区の児童・生徒さんがつくれた標語を活用することができたのでよかったです。

あらかじめポスターの大きさに合わせたイラストを準備したり、本を持つてきたりしている会員さんもいらっしゃいました。私は、絵を描くのが苦手なのですが、皆さんとおしゃべりをしながら活動できて楽しかったです。ありがとうございました。

「社会を明るくする運動」の街頭パレードに参加して

金野 幸子

七月一日、市役所さくら庭で内閣総理大臣メッセージ伝達式を行い、伝達式終了後、保護司会、婦人会、更生保護女性会等、他団体や渟城幼稚園の園児たちと共にパレードに出発しました。横断幕やのぼり旗を掲げ上町～柳町～島町などを三十分くらいかけて

歩きました。お天気もあまり暑くなく、ちょうどよい曇り空で負担なく歩くことができました。

渟城幼稚園の園児たちのパレードの姿をカメラにおさめたり、手をふったりしている保護者の皆さんのお姿が微笑ましく活気づけられました。

柳町ではお店の方たちが外に出てパレードを応援してくれとても嬉しかったです。また、渟城幼稚園のお散歩車に乗った未満児ちゃんたちのかわいい応援もパレードを盛り上げてくれました。

二ツ井地区の参加者は十名で、たくさん参加してくれた会員の皆様には感謝！感謝の気持ちでいっぱいでした。会員の皆様と一緒に「社会を明るくする運動」のパレードに参加できたことはとても有意義で実り多いものでした。

帰りは会員の皆様と一緒に一緒にコーヒータイム、パレードのあとにコーヒーの味は格別で、このほっとしたひとときもまた乐しかったです♪♪

ありがとうございました。



「大人のわんぱく道場」

子どもを支える大人の役割について

吉沢 喜美子

子育て支援課、家庭相談員、藤田卓也さんのお話でした。「世界でたった一人の自分（子ども）を育てあげる」とてもすばらしい言葉です。鳥肌が立ちました。子どもの不登校、いじめ、虐待がこんなにたくさんあることを知り、驚きました。

子どもの権利条約がベース。

- 一、生きる権利
- 二、育つ権利
- 三、守られる権利
- 四、参加する権利

この四原則と、子どもを取り巻く問題、子どもの基本法案があるということ、このような組織ができていることに感動しました。

私は、四十七年前、離婚をして二ツ井に帰つてきました。一人親。夢中で子育てしました。三人の娘を！社会福祉協議会、役場のお世話になり、そして、地域の皆様のお陰で今があります。

二ツ井に戻ってきたその当時、とても素晴らしい

民生委員の方たちと出会いました。

まずは、実家に戻つてきたとき、そして、今の場所に引越したとき、本当に心の底から親身になつて心配してもらえたこと、今でも忘れることができません。感謝でいっぱいです。

このような組織がありますが、問題を抱えている人が相談に行くことは、とてもハードルが高く、大変なことだと思われます。私がそうでした。ですが、どうか勇気をもつて相談してほしいと思います。

わんぱく道場に参加して、児童福祉の仕事のすばらしさ、子どもが健やかに育つ地域づくりができるることに感動しました。ありがとうございました。



令和五年九月四日（月）晴れ

みんなで知恵を出しながら配膳を終え、美味しそうに食べてくれる姿を想像しつつ帰路につきました。

至仁会調理奉仕 二ツ井地区更生保護女性会

菊地 貞	豊澤 町子
金野 幸子	成田 純子
藤田 札子	雄鹿 成子

（献立）

- ・鯖の焼き魚（大根おろし、カツトレモン、しじとうソテー、ボイルおくら添え）
- ・筑前煮
- ・かぼちゃ甘煮
- ・わかめ味噌汁
- ・漬物
- ・メロン

豊澤 町子

十月三十一日（火）、晴天の下新型コロナウイルスの影響で中止となつていた研修を四年ぶりに四十名程の会員と見学ができました。

車中おしゃべりも弾み、あつという間に秋田市に到着しました。まずは、美味しいお昼ご飯を済ませ、至仁会に移動。いよいよ調理開始です。
調理室に入ると悪い予感がしました。焼き魚の献立なのに魚焼きグリルが…。え？ ないの？
でも、大丈夫。フライパンで焼くという方法に気付き、ふわっと美味しそうな鯖の焼き魚が無事完成しました。

中国木材と洋上風力発電を見学して

菊池 徳美



将来に期待をもちました。

昼食は、美味しいお弁当を食べながら、今日の見学についてと久しぶりの会員同士の交流もあり、会話に花が咲いていました。

今回の見学で、これから能代に若い人たちが働く場と経済効果に期待し岐路につきました。



「秋田県更生保護女性連盟会員研修会」に参加して

成田 粋子

令和五年度秋田県更生保護女性連盟研修会が、十一月八日、秋田市にぎわい交流館AUにて百七十九名の参加があり、そのうち二ツ井地区からは十八名が参加しました。

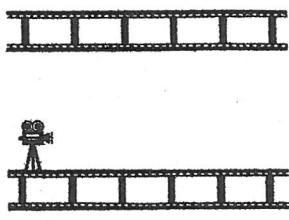
今までのホテル利用の研修会とは違い、自分たち

で準備という手作り研修会という形で行われました。各地区の発表に傾聴し、更女だからこそできる活動の輪を広げていけたらと思いました。

講演は、「本当に更生できるの?」と題し、再犯を繰り返し刑務所に再入所している当事者の再犯してしまった背景などの苦しい胸の内をリモートで聞き、地域と連携し手助けしていく必要を感じました。

昼食には大館鶏めし弁当を美味しくいただき、午後からは高齢の両親を撮影したドキュメンタリー「ぼけますからよろしくお願ひします。」おかげりお母さん」の映画鑑賞。認知症に焦点をあてた映画と思っていたのですが、家族の在り方、人生の生き方、家族の最終意志決定などいろいろ考えさせられた内容でした。

会長のあいさつで「何かひとつでも学んでいただけて活動の糧にしてほしい。」という言葉を中心で繰り返し、帰路につきました。



令和五年十一月十三日（月）晴れ

至仁会調理奉仕

二ツ井地区更生保護女性会
田口 陽子 伊藤 秀子

渡部 美矢子 金野 幸子
成田 粋子 雄鹿 成子

（献立）

- ・肉じゃが
- ・おからサラダ
- ・そばいなり
- ・スイートポテト
- ・フルーツ寒天
- ・なめこ汁
- ・漬物

伊藤 秀子
渡部 美矢子

初めて更生保護の活動に参加です。少し緊張してバスに乗り込みましたが、顔見知りの方も多く、楽しくおしゃべりしながら参加できました。

十五人の夕食を作るということでした。皆さん慣れているようでテキパキと美味しそうなごちそうが次々に並びました。

私たちも手伝いながら、新しいレシピを教えてい

ただいたり、学ぶところがいっぱいありました。
帰りのバスの中、今日の夕食はきっと喜んでいた
だけるかな、美味しいと思うことは笑顔に繋がるか
など思いながら帰ってきました。



第五十六回 秋田県更生保護大会に参加して

田口 陽子

ティッシュケース作りに参加して

工藤 トシ子

十一月二十日（月）、当日は雨降りの寒い朝、今回は受付が十一時と早いので、バスの中で昼食を食べての参加でした。

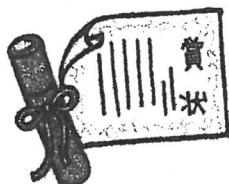
小中学生の作文コンテスト優秀作品の朗読から始まりました。明るい社会にするためにどうしたらよいか、真剣に考えていて感心しました。

講演は、「罪を償つた人を受け容れられる社会づくりに向けて」というお話でした。

今まで罪を犯した人として見ていたんだと反省でした。これからは罪を償つて再出発、立ち直る人に寄り添い、少しでもお手伝いできればと思います。

先日至仁会での調理も、皆の温かい気持ちが届いてくれたらと思いました。

この度は、東北地方更生保護委員会委員長表彰感謝状、どうもありがとうございました。



今年の一月は珍しく小雪でした。二十二日のティッシュケース作りに切石会員五名が参加しました。

布を取り、一針一針と進めながら、石川県の地震のこと話題になり、「被害にあわれた皆さんのが日も早く落ち着いた生活に戻れるといいね。」と話し合いました。

縫いながら、私の孫たちも卒業のときには、このティッシュケースをもらつてきたと何年も前のこと思い出しました。三人の孫たちはそれぞれ就職と学生ですが、この会は何十年と続けてきたのだと、この活動の先になつて頑張つてこられた先輩たちには頭の下がる思いです。

会場はいつもの和やかな雰囲気で参加者たちは年一度初めに合わせた顔ぶれに懐かしさと喜び等一緒になつて、おしゃべりの言葉も弾んで、針の手も動きよく早い時間で目標の数に仕上がつたようです。

三月に卒業する生徒たちがこのティッシュケースを手にしたときの笑顔の様子を想像しながら会場をあとにしました。

更生保護女性会新会員等研修会に参加して

○ティッシュケース贈呈○

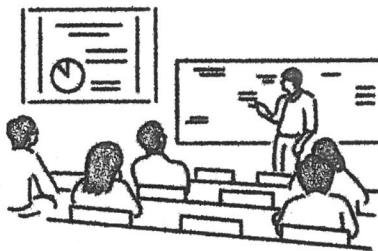
若松 光子

久しぶりに電車で秋田まで二ツ井から五名で参加しました。しばらくぶりにお会いした方もいていろいろとおしゃべりして行つたら、まもなく秋田に着き早く感じました。昼食を食べてから会場まで行きました。

更生保護とは聞いてはいますが、詳しくは分かりませんでしたので、今回参加して理解いたしました。でも、会場が広いせいか、お話をあまりよく聞こえずらかっただと思いました。

でも、参加してよかったです。

ありがとうございました。



一月三十一日 (水)	能代高校定時制課程 二ツ井キャンパス卒業生	十八名
二月 十三日 (火)	二ツ井子ども園卒園児 きみまち子ども園卒園生	十三名 九名
二月 二十日 (火)	二ツ井小学校卒業生	四十名
三月 七日 (木)	二ツ井中学校卒業生	四十二名

あとがき

「ふれあい」三十三号を発行するにあたり、原稿を寄せてくださった皆さまに心より御礼申し上げます。

会員さんが生き生きと活動してくださるお姿をお届けできれば嬉しいです。

雄鹿 成子